

令和 8 年度の活動計画を決定

高田河川国道事務所工事安全対策協議会役員会（総会）を開催

令和 8 年度、最初の高田河川国道事務所工事安全対策協議会役員会（総会）を 5 月 1 1 日（月）、事務所会議室において開催しました。

冒頭の尾崎会長の挨拶のあと、協議会規約改正、役員体制・会員状況の報告、令和 7 年度の活動報告、令和 8 年度の活動計画の提案があり、全ての議案が承認されました。



開会挨拶をする尾崎会長



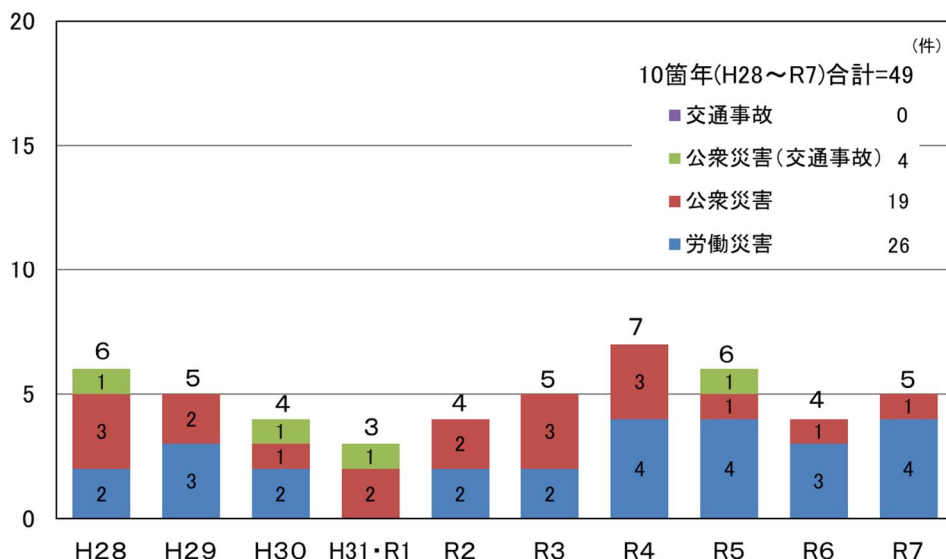
役員会の状況

令和 7 年（1 月～12 月）の事故発生は 5 件、前年より 1 件増

令和 7 年は、高田河川国道事務所管内で 5 件の事故が発生し、令和 6 年から 1 件増加しました。事故の内訳では、令和 4 年から労働災害の比率が高くなっています。この流れを断ち切るため、事故ゼロを目指し、引き続き安全対策の強化が必要です。

近年、北陸地方整備局管内では工具・器具の取扱いに関する事故が増えています。日頃から適切な取扱い及び使用時の集中や周辺への注意の徹底をお願いします。

年（1 月～12 月）別 事故発生状況（件）



令和8年度活動計画について

安全パトロール

6月から地区協議会の安パトを毎月実施するとともに、無通告安パトを四半期毎に実施します。

また、上越地区協議会と糸魚川地区協議会でパトロール現場を交換して行うクロス安パトについては、秋期に1回実施します。

なお、今年度から安パトのメンバーに副所長(河川・道路)及び総括保全対策官も月毎に交替で参加します。

労働災害防止大会、技術研究発表会

労働災害防止大会は、9月第4週の建設労働災害防止週間に合わせて開催し、第36回技術研究発表会は2月中旬に開催します。

これらの大会、発表会については、CDPSの学習プログラムとします。

発注者受注者意見交換会

地区協議会毎に、秋期に現場代理人等と意見交換を行います。

意見交換する内容は、設計、発注、監督等に関するもので、受発注者間の意思疎通を図り、より円滑な工事進捗、生産性の向上に努めていきます。

年間活動予定表

事業名等	実施予定日	場所	内容	摘要
役員会(総会)	R8.5.11	高田河川国道事務所	・令和7年度活動報告 ・令和8年度活動計画	
安全パトロール	【地区協議会パト】 毎月1回	各工事現場	※1 うち、秋季1回、地区協議会クロス安全パトロールとする。 ※2 参加人数により、2班体制で実施する。 ※3 今年度から副所長(河川・道路)及び総括保全対策官が月毎に交替で参加する。	
	【無通告パト】 四半期毎及び随時(事故等発生状況等を勘案して実施)		※ 副所長、課長の2名を基本に、現場には無通告で実施する。	
地区協議会総会	【上越地区】 R8.6月	高田河川国道事務所	・令和7年度活動報告 ・令和8年度活動計画	
	【糸魚川地区】 R8.6月	高田河川国道事務所		

事業名等	実施予定日	場所	内容	摘要
発注者受注者意見交換会	【上越地区】 R8. 秋期	ユートピアくびき希望館	現場代理人等との意見交換	
	【糸魚川地区】 R8. 秋期	ビーチホールまがたま (糸魚川市)		
建設労働災害防止大会	R8. 9月 第4週	マリンドリーム能生 (糸魚川市)	<ul style="list-style-type: none"> ・講話・講演 ・活動報告及び計画 ・安全十訓唱和 ・安全宣言採択 	
「あんぜんニュース高田」 の発行	随時	高田河川国道事務所HP	3～4回発行、に掲載	
第36回技術研究発表会	R9. 2月中旬	ビーチホールまがたま (糸魚川市)	詳細は幹事会で決定する。	

今年も工事事故の撲滅を目指して

閉会の挨拶に立った鈴木副会長（笠原建設代表取締役社長）は、「発注者、受注者が共に安全パトロール、技術発表会、意見交換会等を通じてしっかりとコミュニケーションをとることが、安全、品質の向上を高めていくと思われま。引き続き今年度も活動計画に沿って、品質の向上、安全衛生活動に取り組んでいきたい。」と述べられ、令和8年度の第1回役員会（総会）を終了しました。

今年も工事事故の撲滅を目指して、活動計画に取り組んでいきます。各会員のご協力をお願いします。



閉会挨拶をする鈴木副会長

5月から『熱中症』対策の徹底を！

- 5月は、朝晩は冷える一方日中は気温が高くなり、日によっては夏日・真夏日になる日があるなど、日によって寒暖の差が著しく変化します。
- 一方、体はこうした急激な気温の変化に対応できず体調を崩したり、暑さに対しまだ体が慣れていない（熱順化が不足している状態）ため「熱中症」のリスクが高くなっています。
- 「まだ夏じゃないから大丈夫」と思わず、5月から「熱中症」対策の徹底を図りましょう。

『梅雨』シーズン到来！現場内や情報の事前確認を

- これから梅雨の時期に入ります。特に近年はゲリラ豪雨といった短時間に局所的に大量の降雨が発生するケースが増えています。
- 各現場において、大雨の時の現場の対応手順を確認し現場作業員等に再周知するとともに、現場の排水設備等の状態や応急資材等の備蓄状況の点検し、設備の補修等早めの対応に努めましょう。
- 気象情報を始め関連する河川情報や道路情報等の入手先を再確認し、緊急時に備えましょう。
- 大雨後は、地盤の緩み等危険リスクが高いため、点検は複数人で安全に十分配慮して行って下さい。